

授業科目名	人間教育学ゼミナール（基礎）(2100309)		
時間割名	人間教育学ゼミナール（基礎）(35107)		
時間割担当	山本美紀		
実施期	通年	単位数	4 必修 選択
曜日・時限	水・5		

授業の目標・概要

人間教育学として、自らが深めていきたい専門領域を決め、基礎科目ゼミナールで身につけたアカデミックスキルを駆使し、専門分野の文献や論文によって見識を深めていきます。必要に応じて、実習や地域交流などを行い、主体的に自らの専門性を深めていきます。

本ゼミナールでは、ゼミでは、音楽はもとより、広く「エンターテインメント」と公教育・社会教育について扱います。例えばインターネット上での様々なタイプのエンターテインメントの展開は、コンサートや映画や演劇など、リアルな場に広がり、社会に大きな影響力を持つ様々な事柄を対象としています。一方、ホールや劇場、競技場は、地域に生きる人々に活力を与えうる「居場所」としての役割を果たすよう、政策的にも求められるようになっていきます。そういった、社会のいろいろな側面ではたらく「教育」について、一緒に考えます。特に、一人ひとりがその人なりの成熟、充実した人生を支援するための社会教育について、公教育とのスムーズな接続の観点を大切にします。本ゼミでは、芸術・娯楽・スポーツなど、エンターテインメントとしてのあらゆるものが、社会で果たす教育的役割について考え、フィールドワークも取り入れながら、学校や社会での実際の活用につなげていく具体的な方策を探求するものです。

学習の到達目標

社会における様々なエンターテインメントについて、自分の興味のある分野を定め、それについて他社にわかるように説明できるようになることを目標とします。特に、新しいエンターテインメントやジャンルについては、概要を含め、それが必要とされる社会的要請などにも言及することができ、代表作なども文章化して解説できるようになることを目指します。「ブックレポート」（文献紹介）や「小論文」等による評価を重視します。各自が設定したテーマに基づき、社会における研究対象の教育的価値を見定め、その質に応じて4年次の「人間教育学ゼミナール（応用）」「卒業論文」等へと結びつけていきます。

授業方法・形式

ゼミ生が興味関心を持ったテーマを、毎回レポート発表し、ディスカッションによってより内容を深化させていきます。学内にとどまらず多様なフィールドワークの参加も積極的に行います。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション(人間教育学ゼミナールの目的・内容・文献検索等について)
- 第2回 テーマの設定(興味・関心のあるテーマに向けて)
- 第3回～第12回 ゼミ生発表 (1)～(10)(テーマに基づく学生の発表と討論)
- 第13回～第15回 研究指導 (各学生の問題意識の交流と指導助言)
- 第16回～第25回 ゼミ生発表 (1)～(10)(テーマに基づく学生の発表と討論)
- 第26回～第28回 研究指導 (各学生の問題意識の交流と指導助言)
- 第29回～第30回 研究発表と総括(各学生の研究発表と討論)

成績評価の基準

毎回のレポート発表、「ブックレポート」「小論文」等を総合的に評価します。

準備学習・復習及び授

各自が設定したテーマに基づき、その都度指示します。

履修上のアドバイス及

人間が人生にわたって成熟していくために、必要とされる社会教育の場をどのように整えていくか。エンターテインメントが持つ社会教育的資質を見極められるよう、様々な分野に対して興味を広げてください。また、それらが、幼稚園・小学校など実際の教育現場とどのようにリンクできるのかについて、絶えず注意をはらって、積極的にアプローチして行ってください。

教材・教科書

その都度指示します。

参考書

その都度指示します。